

市議会 だより

東松島市 第55号

令和2年2月1日発行

野蒜海岸 初日の出



東松島市は政府からSDGs未来都市に県内で唯一選定されました。

- 奥松島観光物産交流センターの指定管理者の指定ほか2件を委員会付託審査 … P3
- 補正予算 7億6,355万3千円を計上 …………… P3
- 委員会行政視察の報告 …………… P5
- 一般質問～14人が市政をただす …………… P6



議会映像配信サイト
QRコード



ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/31.html>
 E-mail h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp
 議会映像配信ページ <http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp>

発行／宮城県東松島市議会
 編集／議会広報常任委員会

あけましておめでとうございます



大曲浜 獅子舞



議長新年のあいさつ

東松島市議会議長 大橋 博之



新年おめでとうございます。

令和の時代となり市民の皆様には、新たな希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本市の市政運営ならびに議会活動に対しまして、深いご理解とご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から9年目を迎えようとしております。最優先で進めてまいりました被災者皆様の住宅再建は全て完成し、また新しく鳴瀬桜華小学校が今年度中に完成の予定であり、奥松島運動公園等、令和2年度中に全てのハード事業の完結を目指し、鋭意努力しているところであります。

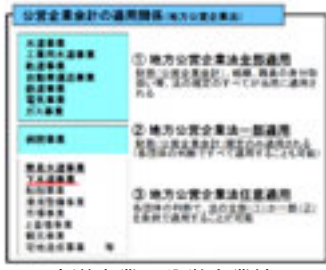
今後は、被災者皆様の心の復興を最優先にソフト事業である高齢者の見守り活動や健康増進への取り組み、地域コミュニティ活動の充実等を強化すべきと考える所存であります。

さらに「SDGs 未来都市」として、子ども・若者・高齢者の全世代が持続可能で安心して暮らしていけるまちづくりを目指しております。市議会といたしましてもさらなる議会改革を目指し、議会基本条例の検証、委員会活動の強化、政務活動の充実等を目標に議会機能の強化に努めているところであります。

今後、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、まちづくりにおいては、時代の流れとともに新しい感覚と高度な政策提言が求められております。市民皆様のご期待にお応えできるよう議員一同全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、この一年が皆様にとりまして幸多き年となります様、心よりお祈り申し上げます、年頭に当たっての挨拶いたします。

議案第98号
東松島市下水道事業の設置等に関する条例について
(産業建設常任委員会付託審査)

地方公営企業が企業としての経済性を十分に発揮し、運営が弾力的かつ機能的に行えるよう配慮した法律である地方公営企業法を、人口3万人以上の自治体は令和2年4月1日より下水道事業へと適用するように要請されています。財政指標等により財政状況を明らかにできるものであり、本市の事業規模の場合の法適用は、新たなコストが生じない「財務適用」を選択し、本条例については、全会一致で原案のとおり可決されました。



▲下水道事業と公営企業法

議案第107号
東松島市老人福祉センターの指定管理者の指定について
(民生教育常任委員会付託審査)

老人福祉センターの業務の範囲は、施設の特異性から管理全般、運営業務、施設および設備の維持管理の多岐に渡ります。



▲市のさまざまな福祉事業の拠点となる老人福祉センター

議案第108号
東松島市奥松島観光物産交流センターの指定管理者の指定について
(産業建設常任委員会付託審査)

市の試算による指定管理料価格と指定管理候補者の貴凛庁の申請価格に大きな差があり、サービスの低下や人員の配置について懸念する意見がありました。キボツチャ等と連携を図って対応していく方針を聞き取りました。



▲奥松島観光物産交流センター

第4回定例会 補正予算(議案113号、118号、124号)

補正予算総額 7億6,355万3千円の増額

震災復興伝承館改修業務委託料などを計上

一般会計ほか6特別会計の補正予算を12月5日および16日、本会議で慎重審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。多数の質疑がありました。何点が質疑および答弁の内容をご紹介します。

①教育費、オリンピック・パラリンピックホストタウン事業およびスポーツ振興事務

Q 市の全力を挙げ、その対応について

A イベント等の具体的な詰めには至っていないが、デンマーク学生交流事業関係の消耗品に、聖火到着式等へ参加する小学生の記念品代を含む。また、聖火到着地となる記念として、都市宣言をし、看板を設置する。

②総務費、震災復興伝承館改修事業

A 改修事業の概要について。店舗跡地を含めた店舗

③農林水産業費、漁港施設機能強化事業(工事請負費)

Q 東名漁港、里浜漁港の工事内容は

A 震災後の隆起対策として、東名漁港で泊地の新設および物揚場改良。里浜漁港では物揚場改良。

④地域支援事業費、地域包括支援センター運営事業

Q 何をもって機能強化するのか。また2カ所あるうち、どちらに予算振り分けするか。



A 複雑化したケース対応や介護予防、重症化予防のための機能強化。振り分けは、東部、西部両者と協議し進める。



▲改修による展示内容の充実が期待される震災復興伝承館

12月補正予算、質疑があった事業の補正額 (単位:千円)

No.	款	事業名	補正額(増額)
①	教育費	オリンピック・パラリンピックホストタウン事業	1,045
①	教育費	スポーツ振興事務	348
②	総務費	震災復興伝承館改修事業	22,248
③	農林水産業費	漁港施設機能強化事業(工事請負費)	127,723
④	地域支援事業費	地域包括支援センター運営事業	2,740

※①～③、一般会計。④のみ介護保険特別会計。

12月(第4回)定例会可決議案

市長提出議案、全27件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記のとおりです。(※ほかの記事で説明している議案は省略しています)

議案番号	件名と主な内容 ※ほかの記事で説明した議案の説明は省略しています。
議案第99号	東松島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例について… 特別職(市長、副市長、教育長及び議会議員)の期末勤勉手当月数を年間支給月数3.35月分→3.40月分(増0.05月分)に改定を行うもの。
議案第100号	東松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について… 一般職員の期末勤勉手当月数を年間支給月数4.45月分→4.50月分(増0.05月分)に、初任給、住居手当等についても改定を行うもの。
議案第101号	東松島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について… 特定任期付職員の期末勤勉手当月数を年間支給月数3.35月分→3.40月分(増0.05月分)、初任給についても改定を行うもの。
議案第102号	東松島市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について… 災害援護資金の貸付に係る調査権限の付与ならびに災害弔慰金および災害障害見舞金の支給に係る支給審査期間の設置について、見直しが行われたため所要の改正を行うもの。
議案第103号	東松島市土地開発基金条例の一部を改正する条例について… 大曲浜地区被災市街地復興土地区画整理事業について事業完了清算手続きに際し保留地を取得する必要があり、その財源に充てるため基金限度額を5億円減額し13億円とするもの。
議案第104号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について… 令和元年6月14日に法律が公布されたことに伴い関係条例の整理を行うため、所要の改正を行うもの。
議案第105号	(債)平成30年度奥松島運動公園災害復旧工事(体育館建築工事)請負変更契約の締結について… 地下水位が高く湧水も多いことからウェルポイント設置による水替工の増工や、カーテンウォールの排煙窓付のものへの仕様変更のため約3,100万円増額するもの。
議案第106号	(債)平成30年度奥松島運動公園災害復旧工事(野球場外)請負変更契約の締結について… 多目的グラウンドの移設工事に伴う掘削造成時に不良土が発生したため掘削し上部に良い土を入れ人口芝を設置する工事と、その残土処理のため約1,100万円増額するもの。
議案第109号	字の区域を新たに画することについて… 大曲浜地区被災市街地復興土地区画整理事業により公共施設が整備されることに伴い、新しい区画を「みそら」と字名を決定したもの。
議案第110号	字の区域を変更することについて… 大曲字土手南下南169の3から169の6まで、170の2に隣接する道路である国有地の全部を、「大曲字道南下」と字の区域を変更するもの。
議案第111号	字の区域を変更することについて… 宮城県から県営ほ場整備事業上福田地区の区画整理が今年度完成することに伴い、字の区域の変更申請書が提出されたことにより変更を行うもの。ただし、住居等への影響はない。
議案第112号	字の区域を変更することについて… 県営ほ場整備事業奥松島地区(宮戸2分区)が区画整理の今年度完成することに伴い、字の区域の変更申請書が提出されたことにより変更を行うもの。ただし、住居等への影響はない。
議案第119号	(債)平成29年度赤井排水区(雨水排水)下水道雨水調整池工事請負変更契約の締結について… 変更内容は、大塚地内の発生土仮置き場に運搬する計画であった発生土を、矢本一般廃棄物最終処分場の覆土材として再利用するため、運搬先を変更するもの。(減額)
議案第120号	(債)平成29年度大曲排水区(雨水排水)下水道函渠工事(その4)請負変更契約の締結について… 変更内容は、本工事で整備するボックスカルバートに接続となる堺堀排水路の改築において、大雨時の排水に対応するため、口径200ミリメートルの仮設水中ポンプ2台を増設するもの。(増額)
議案第121号	(債)平成30年度野蒜排水区(雨水排水)下水道函渠工事(その2)請負変更契約(第2回変更契約)の締結について… 変更内容は、本工事で大塚地内の中間処理施設へ運搬、処理する計画としていた旧JR仙石線に敷かれていた砕石について、大塚地内にある発生土仮置き場に運搬先を変更するもの。(減額)
議案第122号	平成29年度浜市小学校災害復旧用地造成工事請負変更契約(第3回変更契約)の締結について… 変更内容は、各工種において施工数量の確定に伴う変更のほか、擁壁工、排水路工、階段スロープにおける掘削処理工等を変更するもの。(増額)
議案第123号	財産の取得(ICT教育用備品等一式)について… 本市の児童生徒の学力向上を図るため、タブレットパソコン、電子黒板等の教育用ICT機器を購入するもの。(整備校:矢本東小、大曲小、赤井小、矢本一中、矢本二中)

第7回臨時会(10月25日)可決議案

市長出議案、全1件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記のとおりです。

議案番号	件名と主な内容
議案第97号	令和元年度東松島市一般会計補正予算(第8号)について… 台風19号により被害を受けた土木施設および農業用施設等の災害復旧に係る予算、ふるさと納税寄附金増に伴う報償費に係る予算について慎重審議し全会一致で原案のとおり可決。

観光振興を研究する

産業建設常任委員会は10月2日から4日にわたり、行政視察を実施しました。

栃木県小山市「おやまブランド」について

統一的ブランドを確立体系化しており、食や特産品というイメージを歴史や景観などのユニークなブランド展開を行っています。官民のリーダーを軸に強力な組織を構築し、ブランド力の向上を図っています。

茨城県下妻市「道の駅しもつま」について

十分な駐車場面積や売り場面積の確保、来場者のために機能や利便性を考慮し、動線を意識した施設作りが重要です。地元客を中心とした来場者の増加を図るため、リーダーを増やすための品ぞろえ、継続的なイベントの開催や積極的なPR活動を行っています。民間の力を発揮させる人材



の登用と統括するリーダーを確保することが大切です。

茨城県水戸市「水戸の梅産地づくり事業」

ジョイント栽培により約5年に短縮できたものの、手間と専門知識が必要となります。本市では、令和の果樹の花里づくり事業において、土壌、気候、営農人材等課題をクリアしていくべきであり、梅だけにこだわらず、高い値がつく果樹栽培も考慮すべきです。生産面や観光面からも期待ができる事業であると思われま



▲下妻市（道の駅しもつま）視察

議会改革の取り組みを学ぶ

議会運営委員会は11月13日から15日にわたり、議会改革に先進的な取り組みをしている次の3市に赴き、行政視察を実施しました。

兵庫県西脇市議会

西脇市は人口40,600人で議員定数を16名に削減、議会報告会は地域単位で年40会場以上と高校生版議会報告会を年5回程開催している。議会基本条例の定めにより、政策的な情報や意見を交換するため課題懇談会を実施し、市民の要望を市政に反映させる頼もしい議会であります。

京都府福知山市議会

議会基本条例で定める情報公開の推進では、議員の活動に市民の評価が的確にされるようにするため、議員別議案賛否一覧表の公表や委員会審査等ライブ中継・録画配信の導入、更には、議会報告会を団体対象と地域巡



▲福知山市議会視察

回を平行して定期的に実施するなど精力的な活動を展開しています。

愛知県岩倉市議会

岩倉市は人口48,000人、議員定数15名での議会活動に感心させられました。緻密で周到な準備と研鑽で定められた議会基本条例は毎年度検証し、議会報告会や意見交換会を多様な形で多数回開催しています。災害発生時の活動要綱の定めや議会サポーター制度で運営が円滑で民主的に推進されています。

議会運営および活動状況 9月2日以降



9月 2日	広報常任委員会	10月 14日	第8回東松島市長杯地域交流パークゴルフ大会
5日	民生教育常任委員会		第48回若鷹旗争奪少年野球大会
6日	総務常任委員会、民生教育常任委員会		第14回東松島市長杯争奪男子ソフトボール大会
9日	産業建設常任委員会	17日	令和元年度東松島市SDGsシンポジウム
12日	産業建設常任委員会	25日	議会運営委員会
13日	総務常任委員会、民生教育常任委員会、財務常任委員会	21日	東松島市議会基本条例検証に関する調査特別委員会
	石巻専修大学創立30周年記念式典及び祝賀会	26日	2019東北復興大祭典なかの開会式典
19日	財務常任委員会		第14回ひがしまつしま市民文化祭開会セレモニー
	第3回「東松島市いきいき百歳体操」交流会（矢本地区）	27日	豊前市カラス天狗祭り
20日	秋の交通安全運動に伴う出動式、街頭指導	31日	東松島市地域支え合いフォーラム2019
	ソフトバンク地方創生インターンシッププレゼンテーション	11月 2日	OTAふれあいフェスタ友好セレモニー
21日	第18回港湾感謝祭	5日	令和元年度江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会要望会
25日	民生教育常任委員会、財務常任委員会、議会運営委員会	8日	三陸縦貫自動車道・アクセス道路の整備促進と道路予算の確保に関する中央要望会
	第3回「東松島市いきいき百歳体操」交流会（鳴瀬地区）	11日	平成30年度・令和元年度国立教育政策研究所委嘱 宮城県教育委員会指定「魅力ある学校づくり調査研究事業」東松島市公開研究会
27日	広報常任委員会		令和元年度防災気象講演会
	東松島市議会基本条例検証に関する調査特別委員会	17日	民生教育常任委員会、財務常任委員会、議会運営委員会
29日	宮城オルレ奥松島コースオープン1周年記念セレモニー	22日	市政功労者表彰式
10月 5日	らくらく号土曜日運行出発式	23日	令和元年度脱スマホ講演会
7日	広報常任委員会		第52回東松島クロスカントリー大会
9日	第24回宮城県シニアスポーツ大会	24日	議会運営委員会
10日	一般県道石巻工業港矢本線定川大橋開通式	29日	第4回ひがしまつしま食ベメッセ×第8回東松島市観光と物産のPR会
	東松島市PTA連合会セミナー	12月 1日	
11日	広報常任委員会		
	東松島市社会福祉法人連絡会設立祝賀会		

14議員が 市政をたずね

一般質問は、議員が本市の一般事務に関する質問を行ったり、政策提言を行うことなどを言います。議論の様子は録画中継でもご覧になれます。

① ICTを活用した利便性のさらなる向上を目指せ
齋藤 徹 P 6

- ①災害に対する備えについて
- ②市民の医療の確保について
- ③道の駅構想の実現について

石森 晃寿 P 7

- ①復興庁の設置期限延長を問う
- ②台風第19号の対応を問う
- ③東京2020オリンピック聖火到着式を問う

五ノ井 惣一郎 P 7

- ①台風第19号の被災を教訓に防災・減災対策を急げ
- ②大川小最高裁判決による教育現場の防災対策を整備せよ
- ③小学校、中学校における愛着障害の実態を把握し対処せよ

土井 光正 P 8

- ①災害対応について問う
- ②命の橋について再度問う

小野 幸男 P 8

- ①防災教育について（大川小の教訓を活かして）
- ②自衛官募集事務について

櫻井 政文 P 9

- ①矢本海浜緑地パークゴルフ場の指定管理と防災態勢のあり方について
- ②ソフトバンク地方創生インターンシップの継続を提案する
- ③防衛関連予算の効果的運用について

上田 勉 P 9

- ①聖火到着日をメモリアルな日に
- ②友好都市から経済互換都市へ

小野 恵章 P10

- ①原子力災害広域避難計画について
- ②市営墓地の整備について

長谷川 博 P10

- ①将来を見据えた政策の検討を

滝 健一 P11

- ①避難所の不備を見直せ
- ②今後の給食の在り方について

阿部 とし丞 P11

- ①コミュニティ・スクール事業について
- ②道路側溝の管理について

熱海 重徳 P12

- ①選挙行政について
- ②粗大ごみのリユース化について

手代木 せつ子 P12

- ①公共施設等総合管理計画の現在進行形は

佐藤 富夫 P13

議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

問 ICTを活用し、利便性の向上を

答 国・県と連携し、向上を目指す



齋藤 徹 議員

市長へ質問
マイナンバーカードの利便性向上のため、市独自の施策の考えは。

答 マイナンバーカードの普及へ向けた様々な施策の結果、本市では、4月1日時点の5,300件から11月1日時点で、5,569件となり、県内14市中4番目に高い交付率であり、順調に推移している。

市独自の施策としては、令和2年度からコンビニ交付システムを導入し、住民票や印鑑登録証明書等をコンビニでの発行を開始する。

令和3年3月から健康保険証として使用できるよう、国で方策を進めている事から、本市として



▲ ICT を活用し、更なる市民サービス向上を

市報での周知や更新時のカード申請の啓発を促すチラシ、パンフレット等でのPR準備を進めている。

消費活性化策（マイナポイント）の詳細が令和2年度に確定する。本市内の企業も事業に参入頂きながら、活用しやすい環境と利便性の向上が望めるものと考えている。引き続き国・県と連携

し、マイナンバーカードの普及と利便性の向上に取り組む。

問 窓口での市民サービス向上のためのICTの活用に対する考えは。

答 窓口におけるICTの利活用については、タッチパネルで各種証明書を受け取れる自動交付機等が考えられるが、本市の規模から、導入の予定は無い。

問 災害に対する備えについて

答 ハード対策は、国県に要望する



石森 晃寿 議員

国に対し、氾濫の危険性を解消するための堤防のかさ上および強化ならびに河道掘削等の維持管理、有事の際の対応をお願いしている。

市長へ質問

問 鳴瀬川、吉田川等の氾濫が想定される危険箇所の把握と対策について。

答 氾濫が想定される重要箇所を把握している。



▲大塩小学校北側斜面は、12月下旬から調査業務着手



ハードソフト面での対策が必要である。ハード対策は、多額の費用を要することから国県事業で実施。公共性の高い大塩小学校北側斜面は、県事業において12月下旬から調査業務に着手予定。ソフト対策は、情報伝達、警戒避難の整備および案内板の設置による危険の周知等充実を図る。

問 一人暮らしの高齢者や身体の不自由な人等で移動手段がない人の指定避難所までの避難方法について。

答 市内全77自主防災組織に災害発生時の安否確認計画、避難行動計画避難所運営計画のほか、避難行動計画を策定し、共助として、高齢者等の避難の支援をお願いしている。また、自主防災組織の皆さまには、この計画に基づき、本市の総合防災訓練の際、避難誘導訓練を毎年実施し、有事に備えている。

問 復興庁の設置期限延長を問う

答 国の取り組みを最大限活用し取組む



五ノ井惣一郎 議員

市長へ質問

問 本市は、支援継続の5年延長により、どのような施策をするのか。

答 令和の果樹の花里づくり・J R 矢本駅前南北避難通路整備・企業立地補助を活用した企業誘致に引き続き取り組む。

問 復興庁の設置期限延長による東松島市第2次総合計画後期の見直しは。

答 「復興・創生の基本方針」も踏まえ、令和2年度中に復興計画の見直しを策定する。

問 「復旧・復興」計画の現時点での事業の進捗率は。

答 住宅再建・農地復旧・漁港整備事業は、ほぼ完了。令和2年度までの復興



▲定川の両岸のかさ上げ整備事業が完成する。国道45号線付近

完結を目指し鳴瀬桜華小学校整備事業・雨水下水道事業および野蒜地区排水対策・避難道路事業2路線等を実施している。復旧・復興事業は9割程度の進捗率である。

問 台風19号の対応を問う。

答 10月12日に、災害対策本部を設置した。2時間置きに災害対策本部会議を開催し、宮城

県、陸上自衛隊等の関係期間の情報、気象データ、国土交通省の河川データを収集し対応にあたった。大雨特別警報の発表を13日午前0時30分、防災行政無線拡声機、戸別受信機、緊急速報メールおよび市登録制メールにより行った。今後も全市民に対し、命を守る最善の行動をとるよう、周知していく。

問 台風災害の防災・減災対策を急げ

答 内水排除等の対策を実施していく



土井 光正 議員

機能確保をはかる。

問 今回の台風で避難所開設の体制に問題はなかったのか。

答 災害弱者の方々が安全かつ短時間で避難できるように全避難所を同時に開設する見直しを行う。

問 大塩小学校では土石流により校舎等が危険な状態となった。被災対策をどのように行うのか。

答 教育長 対策工事を

県に働きかける。また、学校独自で策定した土砂災害の防災マニュアルに基づく避難訓練に務める。

問 近年の異常な集中豪雨等の避難対策のため「内水ハザードマップ」を早期に作成すべきである。

答 現計画の雨水排水能力が全て発揮される令和2年度以降に作成する。

問 大川小学校最高裁判決による教育現場の防災対策を整備せよ。

答 今回の判決を重く受け止め、これまで以上の高いレベルの防災対策が必要であり、児童生徒から全市民の安全安心に努める取り組みを行う。

教育長へ質問

問 小学校、中学校における愛着障害の実態を把握し対処せよ。

答 乳幼児期における養育環境が起因とされ震災時の環境にも影響があり現在においても注視している。しっかりとした対応を進めるよう務める。



問 災害対応について問う

答 国・県・地域と迅速に連携を図る



小野 幸男 議員

市長へ質問

問 鳴瀬未来中学校の避難所としての対応を伺う。

答 今後とも早めの避難勧告の発令と、早めの避難行動を強く促す。

問 上下堤地区の45号線と周辺農地の冠水対策は。

答 45号の冠水整備に係る要望書を、国交省に提示している。また若針排水機場の改修要望に努める。

問 鳴瀬牛網堤の大雨時の対策について伺う。

答 鳴瀬土地改良区と連携し水位を事前に下げる対策を講じ、県の選定する防災重点ため池になっており、ハザードマップが今年度で完成したので住環境地区および平岡地区の自治会長に説明を行い、地域へも周知し市のホー



▲災害に備え牛網堤の安全対策を万全に

ムページでも公表しながら今後、ハザードマップに即して適切な対応がなされるよう地域土木担当・自主防災・消防団と十分に協議する。

問 牛網地区の消防団のポンプ置場の移転対策について伺う。

答 公園を含めた近隣市有地や公共施設敷地の活用を含め、駐車スペースの確保を消防団・地域の意見聞き検討する。

問 想定外の災害対応について来年度以降に向けた取り組みを伺う。

答 市民の防災意識の向上が重要と考え、地道に取り組み国・県と連携し迅速な対応を図る。

問 命の橋について再度伺う。

答 塩釜市と寒風沢島の住民の熱意を、佐藤光樹塩釜市長と協議する。



▲冠水による道路決壊の被災状況 (矢本字上館下)

防災教育・大川小の教訓を活かせ

答 防災教育に万全を期す



櫻井 政文 議員

た。かけがえのない子供たちの命を守るために、さらなる学校防災の改善防災意識の高揚と防災強化の取り組みを図ってほしいと思料する。そこで以下の所見を伺う。

大川小津波訴訟の結果をどう受け止めるか。

判決を重く受け止め今後児童生徒の安全安心のため、教育長と綿密に連絡を取りながら防災

市長へ質問

大川小津波訴訟で最高裁が石巻市と宮城県の上告を棄却し、原告遺族の勝訴が確定し、学校防災体制の不備が認められ



▲子供の命を守る防災教育を！



教育に万全を期していく。学校と地域との連携をどう図っていくか。

各地域の自主防災組織代表者と各学校の防災主任との防災活動に関する打合せの実施や防災訓練に児童生徒の参加等により連携を図っていく。

教育長へ質問

カリキュラムの中に防災といった授業をどう組み込んでいくのか。

防災教育年間計画に基づいて防災教育を実施している。また、子供の発達段階に合わせて、東日本大震災で得た教訓から学んだことを指導し、避難訓練を行っている。

自衛官募集事務について 市長へ質問

自衛官募集事務の実情・内容と自衛官募集の周知活動について問う。

市報への募集記事掲載や入隊予定者激励会など協力している。また、基地、家族会、隊友会などと協力を図っている。

パークゴルフ場の指定管理とは

答 不具合事項は順次改善する



上田 勉 議員

市長へ質問

今年開場したパークゴルフ場の不具合事項等の解決策を問う。

- ① コース等の不具合の解決策を問う。
- ② 助成金のあり方
- ③ 危機管理体制

① 順次実施する。

開場時間は、今後10分程度早くする。

会員制度は、今後検討する。

また、各市民センター企画の大会は割引を検討・協議する。

場内無線設備については、県と協議し改善を要望する。

② 大規模大会、宿泊を伴う大会には、助成を検討する。

③ 防災無線および非常時の情報収集・伝達システム



▲8時55分、開場を待つプレイヤー

ムの充実を図る。備品・備蓄品管理、保守の充実を図る。

ソフトバンク地方インターンシップの継続を提案する。

今年度参加学生のプレゼンは、今後のまちづくりや、SDGsの完成にも大いに役立つと思うが市長の考えを伺う。

参加学生の提案をより具現化していくよう、

来年度も引き続き実施できるような働きかけを

防衛関連予算の効果的運用について。

総務省・防衛省等関係省庁・機関に対し、防衛関連交付金の効果的運用を図るため、今年度は消防庁舎、来年度はコミセンの大改修、武道館等各学校施設など中期的視野に立ち継続的に要望活動を行っていく。



▲ギリシャから東松島へ、そして全国へ（市役所矢本庁舎1階に掲示中のカウントダウンボード（1月15日撮影））

問 聖火到着日をメモリアルな日に

答 記念日、制定すべきと考える



小野 恵章 議員

市長へ質問
問 令和2年3月20日、松島基地に東京2020オリンピック、パラリンピック聖火が降り立つ。この事実を後世に残すべ

き歴史的な日として、本市の記念日とし制定すべきである。「スポーツ振興東京2020聖火到着地記念日」の制定は。
答 大変意義深い提案と感じており、聖火到着の記念日は制定すべきと考える。大会ブランド保護基準等の制約や取り決めがあり、名称等について関係機関と調整を行い、検討する。



問 スポーツ振興と地域活性化、拡大を図る各種スポーツ大会誘致や創設について。

答 スポーツ健康都市宣言を行い、活動の充実を図りたい。各種運動施設を活用した東北大会等の積極的誘致を行い、地域の活性化に繋げていく。
答 教育長 各学校にてオリンピックを貴重な教材とするとともに、スポーツの教育的意義や効果を学ぶ絶好の機会として活用していく。

友好都市から経済互換都市へ市長へ質問

問 震災後、友好都市とは様々な交流が図られ、本市へ支援をいただいできた。互いの経済に寄与する事業交流について。
答 提案の豊前市特産品の饅等の市場拡大への協力について、前向きに検討する。各友好都市と相互の経済互換的な取り組みを、積極的に進めていく。

問 原発災害広域避難計画を問う

答 県や国、事業者が検討準備する



長谷川 博 議員

市長へ質問
問 鷹来の森検査ポイント通過に34日間かかる予測あり。交通渋滞、混乱の予測、検査台数、検査時間の検討は。



▲（上段）避難所受付ステーションで避難先を指示（下段）汚染部分を拭き取る



答 交通渋滞予測は宮城県が今年度に調査する予定であり、結果を待つ。
問 バスによる避難では最大で1万人、250台必要だとしているが。研究者によれば、緊急時に都合良くバスが待機していることはなく、利用可能な台数は30%、乗車可能人数は対象の1%としている。
答 県がバス協会と協定締結し確保するとしているが、詳細の報告はない。
問 避難時、待機時間が長ければポイントを經由

せずに避難所に向かう市民への対応は。
答 県に検査の円滑化を要望、避難受け入れ部分で検査するよう要望する。
問 避難計画の実効性は全く不十分、市長は市民の安全安心を大前提に女川原発再稼働と向き合うべきだ。
答 国のエネルギー政策の観点もあり、UPZ自治体として注視していく。

市営墓地の整備について
問 今日、少子高齢化、核家族化によりお墓に対する考え方に大きな変化が生じている。平成27年度の公営墓地基礎調査でも墓地取得希望者の半数が公営墓地を希望している。整備について検討すべき。
答 来年度にアンケート調査する。秋田市の事例なども調査研究したい。

問 将来を見据えた政策の検討を

答 市の組織を生かした施策を進める



滝 健一 議員

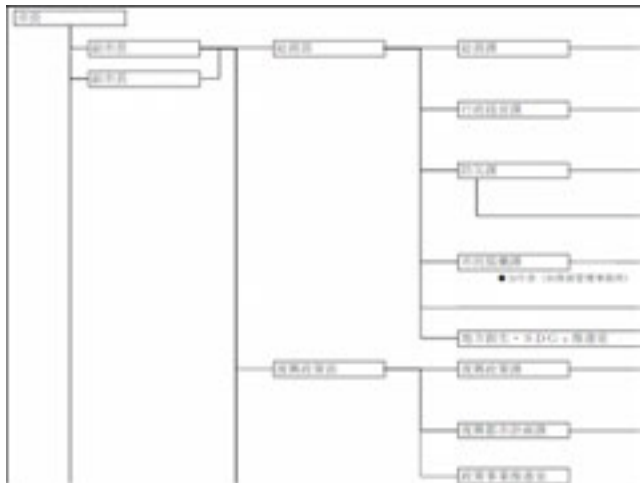
市との連携など、本市の安全、安心や経済活力向上等につなげる。

問 市業務の一部に地方独立行政法人のような組織の活用する考えは。

答 法人組織制度を活用することは難しい。

問 生ごみとなる食品ロスの取り組み方は。

答 食育事業と連携し、正しい食生活の重要性の周知、地区単位でのごみ



▲市の組織改変



減量化説明会を開催し、食品ロスを減らす取り組み事例などを周知する。

問 市民感覚を生かした防災減災の取り組み方。

答 自助から共助までの市民防災力のさらなる推進のため、総合防災訓練や自助意識の向上、共助

防災体制の拡充、防災教育の推進などで防災力の強化を目指す。

問 副市長2人制は大きな効用をもたらした。震災復興が前進し、将来に渡っては元に戻すべき。

答 副市長の人脈を生かした要望活動により増額した特別交付税等や各事業への国県補助金の適用

など、各事業で副市長2人制のメリットが生じており当面副市長2人制を堅持していく。

問 東京2020オリパラを活用したアイデアは。

答 聖火到着式と聖火リレーを契機に、宮城県オリパラ大会推進局と相談し、取り組みを進める。

問 避難所の不備を見直せ

答 不備の改善に取り組む



阿部とし丞 議員

市長へ質問

問 避難所の出入口に車椅子用のスロープを設置すべき。

答 平成20年度以降に整備した体育館には車椅子用のスロープを設置している。それ以前の各小学校には未設置。今後、施設改修時に順次整備をする。当面、簡易的なスロープを設置し対応する。

問 トイレの表示等。

答 トイレ表示を文字表示の他に、扉表面にスクリーンやズボンの形の白黒印刷したもの張り付けていたが、利用者にわかりやすいカラー印刷に変更する。和式トイレについては、計画的に洋式トイレへ改修する。

問 福祉避難所の周知。

答 災害が発生した場合、市が開示する指定避難所で他の方と集団生活することが困難と判断される方がいる場合、二次的に受け入れる避難所を福祉避難所として開設する。混乱を回避するため、指定避難所での生活が難しい方に限定している。広報紙などで周知する。

問 今後の給食の在り方

答 今後の給食の在り方

教育長へ質問

給食費の値上げは、栄養不足は解消されたか。学校給食の実施にあたり、条件を満たすように努めている。



▲避難所での生活

問 栄養不足は解消されたか。

答 学校給食の実施にあたり、条件を満たすように努めている。

問 給食費の値上げは。

答 栄養素を満たす多様な食材や地場産品を使用し献立作成すると値上げが必要。令和2年度から1食あたり④10円値上げし275円、⑤9円値上げし335円に改定したい。

問 コミュニティ・スクール事業について

答 コーディネーターの配置を検討



熱海 重徳 議員

問 教育長へ質問
 学校運営における事業の役割について。
 学校運営協議会では校長が作成する学校運営方針について協議を行い、

答 協議会では具体的な活動意見が出ていない。もう少し、教育委員会主導で事業推進すべきでは。地域学校協働活動での住民や保護者との連携

承認することや意見を述べる等の業務を行っている。また地域住民や保護者等、多くの地域ボランティアの協力をいただき、さまざまな教育活動や学校支援につなげている。



▲コミュニティ・スクールの役割



については課題として認識している。今後コーディネーターの配置を検討し、一体的な活動を目指していく。
問 PTA活動との関連性について。
答 働き世代である保護者のPTA活動への参加が減少傾向にある中で、地域住民の学校行事への参加により保護者の負担を軽減することは重要と考えている。今後さらに「地域とともに育つコミュニティ・スクール」として推進していく。

問 側溝の清掃において、コンクリート蓋の開閉にかなり苦慮されている。一定間隔でグレーチング蓋に変更してはどうか。
答 グレーチング蓋については排水機能および維持管理上も効果的と判断しており、今後は計画的に交換していく。

問 道路側溝の管理について市長へ質問
答 側溝の清掃において、コンクリート蓋の開閉にかなり苦慮されている。一定間隔でグレーチング蓋に変更してはどうか。
答 グレーチング蓋については排水機能および維持管理上も効果的と判断しており、今後は計画的に交換していく。

問 選挙行政について

答 今後も啓発事業を継続



手代木せつ子 議員

問 選挙管理委員会委員長へ質問
 期日前投票の際に提出する「宣誓書」について投票所入場券と一体となっている自治体もあるが、当市の改善策は。
答 記入スペース、印刷費および郵送費のコスト増が見込まれ現状の方式が適切と考えている。

問 期日前投票に間に合わない「選挙公報」の配布について、本委員会としてHP掲載など対処策は考えていないか。
答 公職選挙法第170条に「選挙の期日前2日前まで各世帯に配布するものとする」規定は遵守されており現状で問題はない。

問 投票率向上の施策と成果、今後の対策は。
答 市報、防災行政無線広報車での投票呼びかけ、市内小中学校への選挙啓発ポスターおよび標語の募集、市内高校では選挙出前講座も開催している。成果として、本市の投票率は県内平均である。今後も啓発事業を継続し実施していく。



▲選挙人が投票しやすい環境を!!!



問 市報、防災行政無線広報車での投票呼びかけ、市内小中学校への選挙啓発ポスターおよび標語の募集、市内高校では選挙出前講座も開催している。成果として、本市の投票率は県内平均である。今後も啓発事業を継続し実施していく。
問 交通手段の乏しい高齢者の投票機会を確保するため移動期日前投票所の導入等を検討しては。
答 県内外の事例を参考にし本市の今後の導入について研究していく。なお、期日前投票所へは平日であれば市のらくらく号の利用等、高齢者の皆様への周知に努めていく。

問 粗大ごみのリユース化について市長へ質問
答 今後の実施計画は。家具類中心に令和2年実施にむけ進めている。



▲インフラ老朽化は必ず来る遺漏の無い計画をすること

問 公共施設等総合管理計画の進捗は

答 令和3年スタートに準備中



佐藤 富夫 議員

市長へ質問
 表題の財政負担は、必至。総務省は全国自治体の公共施設について、統廃合・更新・総量削減し経費節減するように要

請した。方針は①安全で強靱なインフラシステムを構築する。②総合的メンテナンスでトータルコストの削減をする。③全体の維持管理経費の算出をし明らかにする。
 (1)①③の本市の方針は、
 (2)実現の見通しについて。
 (3)令和2年度以降のこの件に関する予算の考え方について。
 (4)国の補助のみならず、



一般財源も必要であるが私が提言してきた、市独自の財源確保についての再考察はどうか。

答 (1)①大規模災害対策を的確に施設の長寿命化を進める。

②庁内プロジェクトを設置しトータルコスト削減と平準化を図る。

③その他、施設の総量20%減、新設の考慮・複合化集約化・PPP(官民協力)による民活導入などと合わせ、更新費用の推計に基づき防衛省、社会資本総合整備交付金など国の補助金の最大限活用と公共整備および大規模改修基金などを充たする。

(2)令和2年度が施設の総量ピークとなる。市民の意見を聞きながら縮減目標を達成したい。

(3)令和2年度予算のヒアリング中で、適宜予算の縮減で対処する。

(4)震災の減免中であり都市計画税等は考えてない。

友好姉妹都市・友好都市交流

更別村議会(北海道) 来市

10月7日から9日、友好姉妹都市である更別村より、高木修一議長はじめ議員2名および西海健副村長等が来市し、意見交換等を行いました。8日には、鷹来の森運動公園の防災備蓄倉庫や震災復興伝承館等を視察し、市長および議会との交流を深めました。

豊前市議会(福岡県) 訪問

10月26日、友好都市である豊前市を議長が表敬訪問し、豊前市議会議長はじめ、市長等と意見交換を実施しております。翌27日、豊前市内で開催されたカラス天狗祭りに出席し、議長があいさつを行い、本市から出店の友好都市特設ブースの販売支援をしました。

豊前市内の「うみてらす豊前」では鱧切り実演を、「豊前市獣肉処理加工施設」では、鹿・猪の処理を視察し、豊前市が

鹿や猪のジビエ、鱧の市場拡大を模索している現状を実感できました。

大田区議会(東京都) 訪問

11月2日、友好都市である大田区を議長が訪問し、ポートレース平和島で開催された「OTAふれあいフェスタ」の友好都市セレモニーにて議長があいさつしました。大田区議会議員とは、意見交換を実施し、交流を深めることができました。

また、友好都市特設ブースの本市特産品、旬の蒸し牡蠣販売を支援しました。



▲多くの人で賑わったカラス天狗祭り(豊前市)

他議会からの視察来庁

10月 1日	山形県河北町議会厚生文教常任委員会	議員7名	「コミュニティ・スクールの導入について」
10月 3日	長野県塩尻市議会総務生活委員会	議員6名	「SDGsの取り組みについて」
10月10日	北海道積丹町議会	議員6名	「被害状況と復興状況について」等
11月 5日	東京都羽村市議会公明党(会派)	議員4名	「SDGsの取り組みについて」
11月 7日	大阪府枚方市議会公明党議員団(会派)	議員5名	「震災の復興状況について」
1月16日	宮城県栗原市議会広報編集調査特別委員会	議員9名	「議会広報発行に係る編集方針等について」等
1月20日	埼玉県行田市議会黎明21、みらい(2会派合同)	議員6名	「防災・減災対策について」

令和元年10月21日、東松島市PTA連合会との議会懇談会を矢本西市民センターで行いました。

市議会議員によるワークショップ形式での議会懇談会は、石巻圏域では初の試みでした。

市PTA連合会から28名が参加し、本市議会の広報常任委員および民生教育常任委員の議員10名で5つのグループにわかれて、3つのテーマについてグループワークにより懇談し、意見交換しました。

市PTA連合会として、市内の小学校全8校、中学校全3校の各学校単位のPTAから代表者としてPTA会長等、3名程度に出席していただきました。各校からの参加で、各校の現状を踏まえた懇談ができました。

なお、ワークショップ後の全体懇談で、本市にも総合型地域スポーツクラブがあるが、健康増進に関する取り組みを見直し、強化してほしいというご意見があり、民生教育常任委員会で受け止めさせていただきました。

本市の将来を担っていく小中学生の保護者の中心として活動されているPTAの皆さまが日頃、市の教育について率直に感じていることを聞くことができました。また、PTA参加者の方からは、自校以外の学校の意見を聞くことができよかったという感想を聞くこともでき、大変有意義な懇談会となりました。

ご多用の中、熱海会長はじめご出席いただいた市PTA連合会の皆さまに厚く御礼申しあげます。

事前に設定した3つのテーマについて、グループワークで懇談した中で多数のご意見ができました。紙幅に限りがありますので、抜粋して掲載します。(順不同、グループ混在)

テーマ1 学力向上のためにどう取り組んでいけばよいか

課題・問題点(現状)	対策(誰がどうするか)
学力が高い地域(他市)はなぜ高いのか。どうしているのか疑問。	学力が高いという秋田県などの保護者と意見交換の機会があるとよい。
平均点がわからない。学力で自校がどの位置にいるのかわからない。	先生に児童が楽しいと感じる授業をしてもらう。
学力が低いとダメなのか。保護者があまり他の自治体との学力比較を意識していない面がある。	図書館の自習室のような学習スペースの確保ができるとよい。
勉強を楽しいと感じられない児童が多い。	補習授業を学校の先生にボランティアでもらえればよい。または民間のNPOを補習授業等に利用してはどうか。
先生と子供の会話の時間が少ない。	学童で宿題をする習慣づけができればよい。
学校で補習授業があるとよい。	子ども食堂と一体で補習授業があるとよい。
やる気の無い子供が多いのかもしれない。やる気をどう出させるか。	家庭でも活字に触れる機会を増やし、読解力、国語力の向上を図る。漢字を覚えることにもつながる。宿題として読書感想文を多く書かせる。
学校教育で十分だが、集中力が足りない児童が多いのではないか。	各家庭に競争力を持たせる意識づけをする。親が家庭でみてあげる時間を意識してつくり出す。
活字に触れる機会が少ない。全体的に読解力、国語力が低い。	授業の進め方を考え、他県にならう。他県ではもっと早く授業を進めている。
夏休みの宿題が少ない。夏休みを減らしても意味がない。	子供の意欲向上は、家庭での励まし、保護者が関心を示し、ほめることで、夢や目標がみえ、勉強することの必要性がわかれば、向上心、やる気が起きる。
授業の理解力の個人差に先生が対応できていない。	小学校高学年で教科ごとに担当する先生を変え、中学校進学に備える。(例、平成28年度に鳴瀬桜華小学校で実施)
親が子供の勉強を見る時間を作れない。	
小学校、中学校間で学習内容にギャップがある。	
教員によって教え方が違い、クラスによって点数に差が出ている。	
経済的な理由で塾に入りたくても入れない世帯がある。	



▲ワークショップ形式による開催のため、5つのグループを編成し、各グループでファシリテーター(進行)および書記を議員が務めました。模造紙にふせんで次々とご意見を出していただくことで、非常に多くの多様なご意見を伺うことができました。

テーマ2 家庭学習をどのように取り組んでいけばよいか（スマホの取り扱い）

課題・問題点（現状）	対策（誰がどうするか）
宿題が多い。子供自身の宿題や自主勉強に対する意識が低い。	親が毎日、宿題のほか自主勉強の習慣がつくよう、声がける。
家庭学習にメリハリがない。何かをしながら勉強している。勉強以外の興味があまりすぎる。	入りたい高校や大学進学などの目標があると頑張るはず。
プリント配布や親、先生の声がけだけでは児童は変わらない。動かない。	家庭学習する際の環境を集中できるように整える。
共働きで、子供を見てあげられない。	自分自身で考えて目標をもって取り組む。
親自身がスマホ中毒などの場合、全く子供に制限しないなど、親の問題もある。家庭でスマホの管理がされていない。	スマホの使い方について、東松島ルールをつくってほしい。
スマホを与えることで、親が楽できていると思っている面もある。	スマホ、テレビゲーム、テレビ等、親が時間を決めるなど管理する。
スマホのほか、タブレット、PC、テレビゲームなどの管理の問題もある。	スマホ（SNS）の使い方を学校で教えてほしい。
スマホに時間を奪われ、本を読まない。字を書かなくなっている。	スマホの使い方を生活習慣として身に着ける。（例、矢本西小学校では、毎週火曜日にノーゲームデー実施中）
スマホは連絡などとても便利でなくては困るようになっているが、児童間でトラブルが多くなっている。	学校行事などでメディアの怖さ、脳への影響について有識者を呼び、学ぶ。
スマホで遊ぶ場所が少ない。	公園を充実してほしい。外遊びの機会を増やし、自分の興味をみつけ、自主的に勉強するように促す。

テーマ3 不登校児童を減らすにはどう取り組んでいけばよいか

課題・問題点（現状）	対策（誰がどうするか）
親の問題の面もある。過剰に先生方にクレームを入れ過ぎる人が増えているせいで、先生方が子供に対してしっかり良し悪しの指導をしづらい環境になっているのではないか。	教師にも問題がある。学校に行けば楽しい。頼りになる先生を養成する。学校、教育委員会は事案発生した際、隠さない。情報開示すべき。
問題は学校より家庭にあるのかもしれない。	学校、教育委員会は、相談窓口のPRが足りない。PR手法を考えるべき。
頼りになる先生が少ない。先生が弱すぎる。	モンスターペアレンツを極力少なくする努力が必要。
不登校、いじめの相談窓口がわからない。学校自体があやふやにしている。実態がよくわからない。	不登校は親のケアも必要。
学校の対応に問題があると感じる。隠したがるのはよくない。	子供食堂と一体的に事業を進めるとよい。
情報開示がされていない。隠ぺい体質と感じている。	外部の専門家を多くし、「心のケア」の支援を進める。
いじめにあっている児童の逃げ場がない。	学校へのカウンセラーなどの配置人数を増やし、話せる環境づくりをする。
全体として、実情が地域ごとに不明なので、問題意識が少ない。	学校と切り離して、子供と接する機会をとる。子供達が話しかけやすい大人が増えるるとよい。子供が一人で考えないように。
震災による心理的なトラウマが続いている子供もいる。	他人への興味、関心を高める。理解を深めることで対応がみえてくる。
不登校に至る環境まで興味を持っていない。理解しようとしていない。	親が面倒がらず、地域の行事など、いろいろな場所、学校外の行事に連れ出し、学校外の時間、居場所をつくるようにする。
不登校という言葉は学校側から見た目線ではないか。	自分の子供だけでなく、近所の子供にもあいさつなど、声がけし見守る。準不登校の生徒への対応を丁寧に。民間団体、企業など他機関連携。
	先生、親以外の人が相談に乗る方が、いい子もいるのではないか。

ワークショップの流れ



▲最後に各グループで発表



▲グループワークで各テーマについて、書き出し後にまとめ



▲ワークショップの要領を事前説明

<p>● 開会あいさつ 大橋 博之 議長 熱海 光太郎 議長 市PTA連合会会長</p>	<p>● 司会 齋藤 徹 議員</p>	<p>● 市議会の教育行政についての取り組みの紹介 上田 勉 民生教育常任委員長</p>	<p>● ワークショップの説明 櫻井 政文 広報常任副委員長 小野 恵章 副議長 （広報常任委員長）</p>	<p>● 議会懇談会議員派遣名簿 石森 晃寿 （総務常任副委員長） 上田 勉 （民生教育常任委員長） 手代木 せつ子 （民生教育常任委員） 齋藤 徹 （産業建設常任委員） 小野 幸男 （広報常任委員） 小野 恵章 （副議長、総務常任委員） 阿部 勝徳 （広報常任委員長） 櫻井 政文 （産業建設常任副委員長） 佐藤 富夫 （議会選出監査委員） 長谷川 博 （民生教育常任委員）</p>
--	-------------------------	--	--	--

※議席番号順に記載

傍聴者インタビュー



小野竹一さん
あおい地区会会長

令和元年 第4回定例会 緊張感のあるやり取りをきいて

12月11日(水)議会定例会を傍聴しました。震災から8年9カ月目のこの日に大川小津波訴訟に関連した、本市の取り組みに対する一般質問とそれに対する答弁が行なわれ、市長、防災担当、学校教育関係者の方々の緊張感あるやり取りに聞き入りました。また、ソフトバンク

地方創生インターンの学生方からの提案にどのように取り組むかの宿題があると、思います。私は日々新規事業や改革には、若者と、よそ者の力が必要とっております。本市の足りないもの、必要なもの、どのように展開するのか検討の結果を見守ります。

●●議会を傍聴してみませんか●●

2月定例会日程(予定)お知らせ

2月13日(木) 10時00分～	本会議 (開会、議案審議等)
2月18日(火) 10時00分～	本会議 (一般質問)
2月19日(水) 10時00分～	本会議 (一般質問)
2月20日(木) 10時00分～	本会議 (一般質問・代表質問)
2月21日(金) 10時00分～	本会議 (当初予算総括質疑)
3月2日(月) 10時00分～	本会議 (議案審議等)
3月5日(木) 10時00分～	本会議 (議案審議等)

※変更の場合がありますので、詳しくは市議会ウェブサイトをご覧ください。

議会日程ウェブサイトQRコード



傍聴およびライブ中継をご視聴いただきありがとうございました。

令和元年 第4回 定例会
(12月5日～16日、本会議開会6日間)

傍聴者数

15名

インターネットライブ中継
視聴者数

174名

請願・陳情をお出しになる方へ

市の行政などについて意見や要望があるとき、議会に請願や陳情を提出することができます。

Q&A

① 提出できる人は、だれでも提出できます。

② 提出の時期は、

随時受け付けておりますが、2月、6月、9月、12月の年4回開催される市議会定例会で審議されますので、各定例会が始まる前までに提出してください。

③ 請願と陳情の違いは、

◆ 請願は市議会議員1人以上の紹介が必要ですが、陳情は必要ありません。請願は担当の常任委員会等で審査をし、その審査結果をもとに本会議で採択(趣旨に賛成)、一部採択(趣旨の一部に賛成)、不採択(反対)かを決めます。採択された請願は、必要があると認める場合に、その結果を市長または関係機関に送ります。

請願・陳情を書くときの注意

◆ 陳情は請願と違い、紹介議員は必要としませんが、東松島市議会の場合、議会運営委員会が協議し、特に意見がない場合、各議員への配付および本会議での報告のみとなります。

また、この場合特に申し出がない場合、陳情者への報告等はありませんので、陳情を提出する際は、議会事務局までご相談ください。

請願・陳情を書くときの注意

- ① 用紙はなるべくA4判を使用してください。
- ② 請願・陳情者は、表題、趣旨、提出年月日、住所を書き、署名または記名し、押印してください。(法人では名称、代表者署名または記名し、法人印を押してください。)
- ③ 請願・陳情者が多数の時は代表者を決め、署名簿を末尾につけてください。

持続可能なまちづくりを

政府は優れた取り組みを提案した全国29自治体を、「SDGs(エス・ディ・ジーズ)未来都市」として選定。宮城県からは唯一、東松島市が選ばれました。今回お届けする議会だよりでは、記事の内容に関連する持続可能な世界を実現するための17の目標のロゴを記事に添えて掲載しました。(一般質問の記事含め、広報常任委員会がロゴを選択しました。)



請願・陳情の受付一覧

(令和元年9月27日～令和元年12月16日)

ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請
(提出者：自交総連東北地方連合会 執行委員長 本間 昭)

編集後記

あけましておめでとうございます。今年も東松島市議会をよろしくお願ひいたします。

3月20日は、2020年東京五輪の聖火がギリシャから航空自衛隊松島基地に到着します。東松島市にとって歴史的な日になります。世界各国から注目され東松島市の知名度もアップし、大きな経済効果をもたらす可能性もあります。期待して、その日が来るのを待ちましよう。

さて、議会広報の役割というものは、議会ですという議論を経て結論に至ったのか、その経緯を分かりやすく、広く市民の皆さまに報告することだと自覚しております。今後ともご愛読のほどよろしくお願ひします。(石森 晃寿)

広報常任委員会	委員長	小野 恵章
副委員長	櫻井 政文	
委員	石森 晃寿	
委員	手代木 せつ子	
委員	齋藤 徹	
委員	小野 幸男	
委員	阿部 勝徳	